



放射線量測定器

放射線量の測定継続と 学校給食の食材の安全性



質問者
寺嶋 正 議員

(1) 町では、町内23ヶ所の空間放射線量測定を6ヶ月間行い、国基準値を下回った。しかし、福島原発事故は収束したとは言えない状況であり、今後も測定を継続して行い、町民の放射能・放射線への不安解消を図っていくべきだ。また、放射線量測定器を購入するお考えはあるのか。

(2) 食品中の放射性セシウムの新基準値が4月から適用される。一般食品・牛乳・乳幼児食品・飲料水に区分され厳しい数値となる。学校給食の食材の安全確保の取り組みと食品の放射線濃度測定はどうされるのか。



A 放射線量の測定を継続する
回答(町長・教育長)

(1) メーカーから借りた2台の測定器を使い、防災あんしん事業の中

で引き続き放射線量を測定する。

(2) 県内32市町村が加盟している「財団法人・神奈川県学校給食会」より、主食食材を購入している。食材の安全性については、市場に流通している物は、所定



質問者
菅谷 一夫 議員

定住化に向けた総合計画の 事業推進について

第5次総合計画も2年度を迎え、本格的に定住化策事業を推進する年度となりました。次の点を町長に伺います。

(1) 第1章の総合的土地利用の取り組み推進に、都市計画の線引き見直しとありますが、松田町都市計画マスタープランや住宅マスタープランの作成も視野にいれて、作業をな

の検査を経て安全性が確認され提供されている。

県では簡易型の検査機器5台を購入し、24年度から県内2ヶ所で学校給食食材の検査をする予定になっている。

さるお考えは。

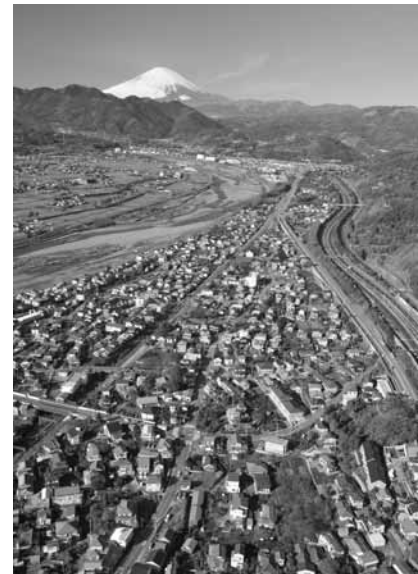
(2) 平成18年12月に教育基本法が施行され23年度小学校、24年度中学校に新学習指導要領が実施されますので、教育振興基本計画の①確かな学力の保証②豊かな心と健やかな体の育成③教員が子供一人ひとりに向き合う環境づくり④手厚い支援が必要な子供の教



A 夢を次代に引継ぐために
回答(町長・教育長)

育の推進⑤地域全体で子供たちを育む仕組みづくり等々について、教育長のお考えを伺います。

(1) 線引きの見直しは、5年毎の都市計画基礎調査の結果により、県知事が判断して行うが、現時点では、見直しの時期は定かでない。次回の線引き見直し時には、市街化区域や用途地域、土地の高度利用等主要な都市計



庶子地区の市街地

画の方針や、住宅のマスタープランも念頭に調査・研究をしていきたい。

(2) 問①と②は、学習指導要領の中心である「生きる力」を育成することであり、学校教育の基本方針としている。③より良い教員を適正に配置して、子どもと向き合える時間を確保することは、喫緊の課題として認識している。④不登校や個別指導が必要な障害のある児童・生徒は増加傾向にあるので、教員を加配する措置を講じている。⑤地域の方の防犯パトロールや、学校ボランティアの活動に取り組んでいただいている。活動されている方には感謝している。